

令和6年度 日本リハビリテーション病院・施設協会 会員施設調査報告

調査概要：会員 550 施設に対し令和 6 年 6 月 1 日時点の情報について入力依頼

入力方法：協会ホームページ内、入力フォーム

入力期間：令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 1 月 31 日

回答施設：390 施設（回答率 71%）



一般社団法人
日本リハビリテーション病院・施設協会
JAPAN ASSOCIATION OF REHABILITATION HOSPITAL AND INSTITUTION

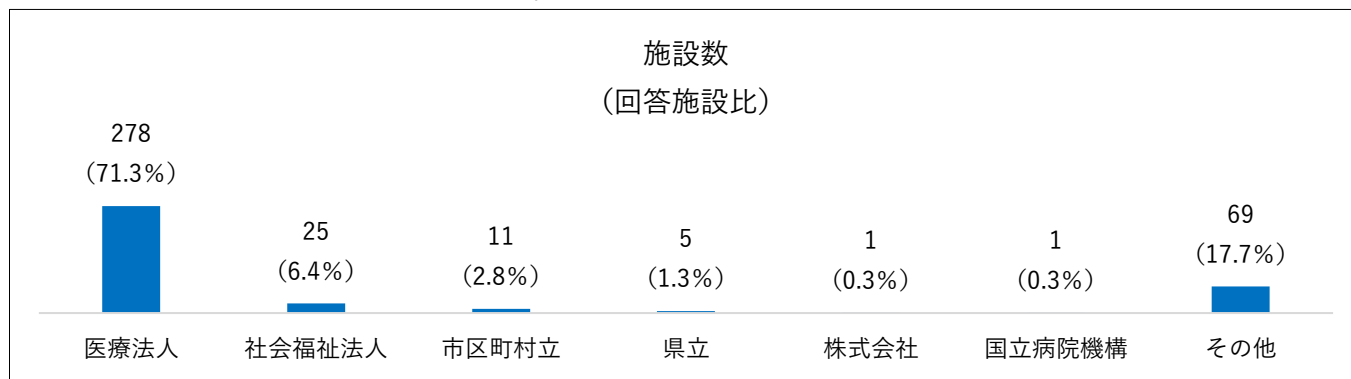
【調査内容】

1. 施設基本情報
 - ・経営主体
 - ・施設の種類
2. 入院・入所施設
 - ①一般病床
 - ②療養病床
 - ③精神病床
 - ④有床診療所・介護老人保健施設等
3. 実施しているリハ種別
 - ・リハ種別詳細
 - ・退院後リハについて
4. スタッフ数
 - ・各職種別詳細
5. 地域連携パス
 - ・各施設での地域連携パスの有無
 - ・実施している地域連携パスの種類
6. 受託事業
 - ・実施している施設数とその内容
7. 法人内事業所・施設
 - ①法人内居宅サービス
 - ②法人内施設サービス
 - ③地域密着型サービス
 - ④その他法人内事業所・施設
8. 追加設問
 - ①許可病床数
 - ②DPC 病床
 - ③受けている第三者評価認定とその種類
 - ④地域包括ケア入院管理料種別
 - ⑤地域包括ケア入院管理料病床数
 - ⑥地域包括ケア入院医療管理料病床類型

1. 施設基本情報

経営主体

回答施設の経営主体について下記グラフに示す。



※その他：一般・公益財団法人、地方独立行政法人、学校法人など

経営主体では、医療法人が 278 施設（71.3%）と最も多く、次いで社会福祉法人が 25 施設（6.4%）であった。

施設の種類

回答施設の種類の（病院・施設、歯科医院の2択）の回答について下記グラフに示す。

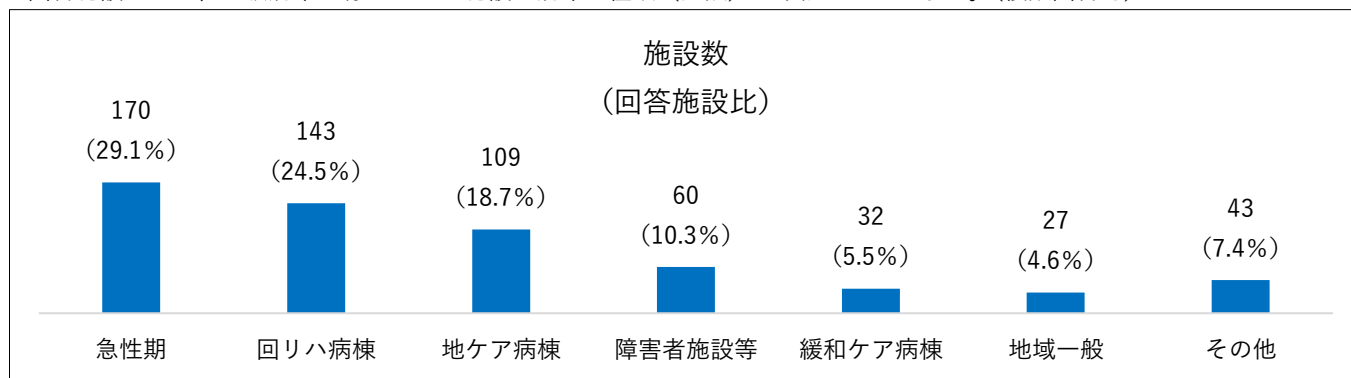


施設の種類の、病院・施設が 389 施設（99.7%）、歯科医院が 1 施設（0.3%）であった。

2. 入院・入所施設

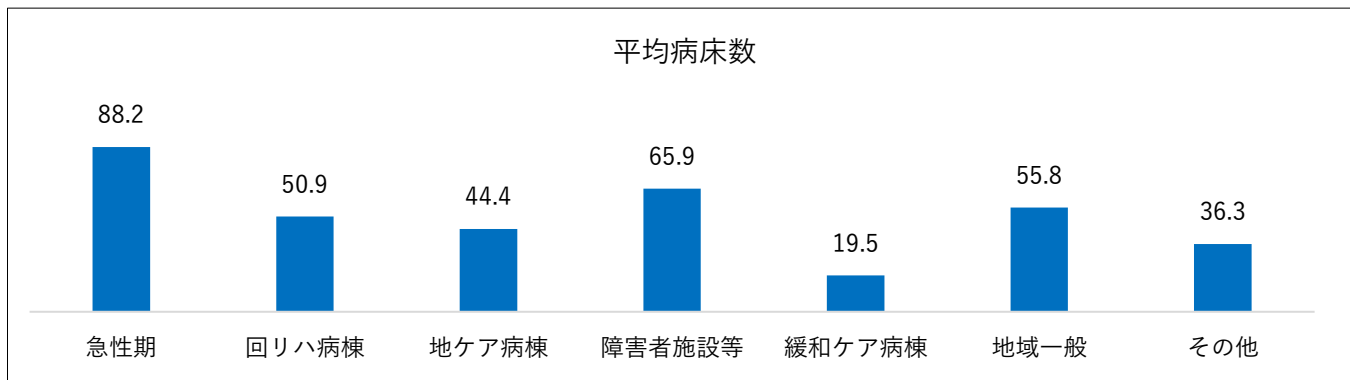
① 一般病床

回答施設のうち、一般病床を有する 284 施設の病床の種類（内訳）を下記グラフに示す。（複数回答可）



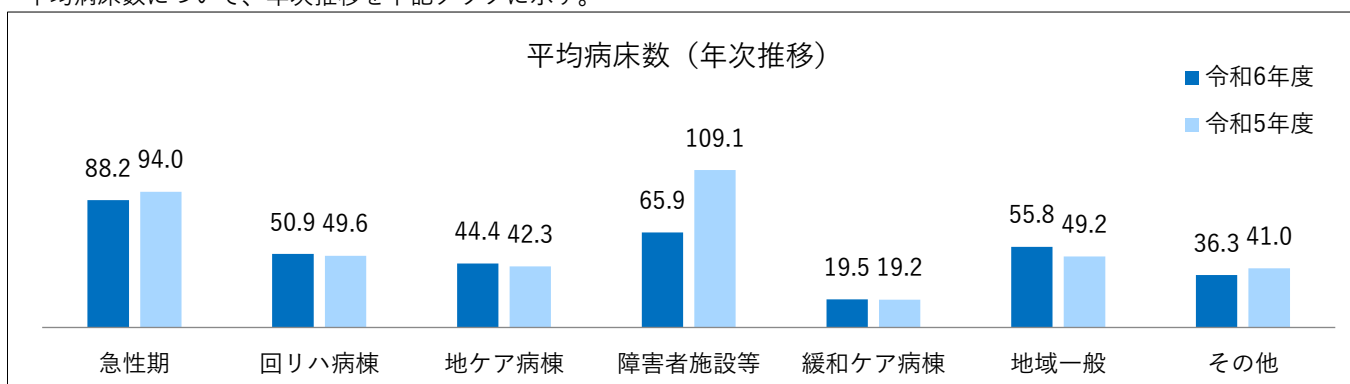
一般病床の種類は、急性期が 170 施設（29.1%）と最も多く、次いで回りハ病棟が 143 施設（24.5%）であった。

各病棟の平均病床数を下記グラフに示す。



平均病床数は、急性期が 88.2 床と最も多く、次いで障害者施設等が 65.9 床であった。

平均病床数について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ、急性期、障害者施設等以外で 平均病床数の増加がみられた。

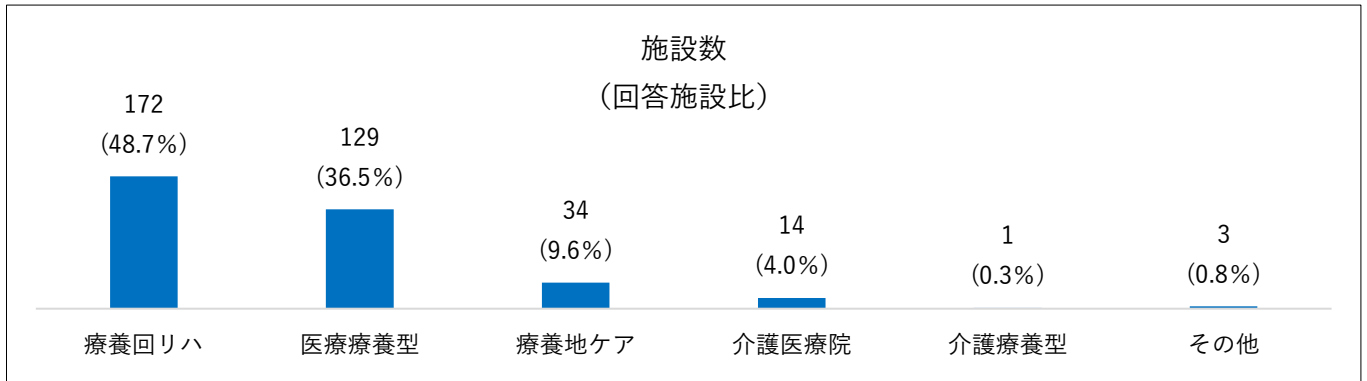
・一般病床詳細

一般病床を有する 284 施設の病床の種類、平均病棟・病床数をまとめた表を以下に示す。

	急性期 入院料 1	急性期 入院料 2	急性期 入院料 3	急性期 入院料 4	急性期 入院料 5	急性期 入院料 6	急性期 入院料 7
施設数	74	10	1	50	15	17	3
平均病棟数	5	2.2	2	1.8	1.3	1.4	1
平均病床数	237.3	100.6	60	72.3	55.9	46.1	45
	地域一般 入院料 1	地域一般 入院料 2	地域一般 入院料 3	地域包括ケア 入院料 1	地域包括ケア 入院料 2	地域包括ケア 入院料 3	地域包括ケア 入院料 4
施設数	3	4	20	65	44	0	0
平均病棟数	1.7	1.3	1.2	1.2	1	0	0
平均病床数	62.3	51.5	53.5	46.1	42.6	0	0
	回復期リハ 入院料 1	回復期リハ 入院料 2	回復期リハ 入院料 3	回復期リハ 入院料 4	回復期リハ 入院料 5		
施設数	120	8	13	1	1		
平均病棟数	1.4	1.4	1.4	1	1		
平均病床数	67.3	66.5	56.6	33	31		
	障害者施設等 入院料 7:1	障害者施設等 入院料 10:1	障害者施設等 入院料 13:1	障害者施設等 入院料 15:1	緩和ケア病棟 入院料 1	緩和ケア病棟 入院料 2	一般病棟 その他
施設数	2	47	10	1	19	13	43
平均病棟数	2.5	1.6	1.4	1	1.1	1	1.8
平均病床数	104	73.1	82.6	4	20.4	18.5	36.3

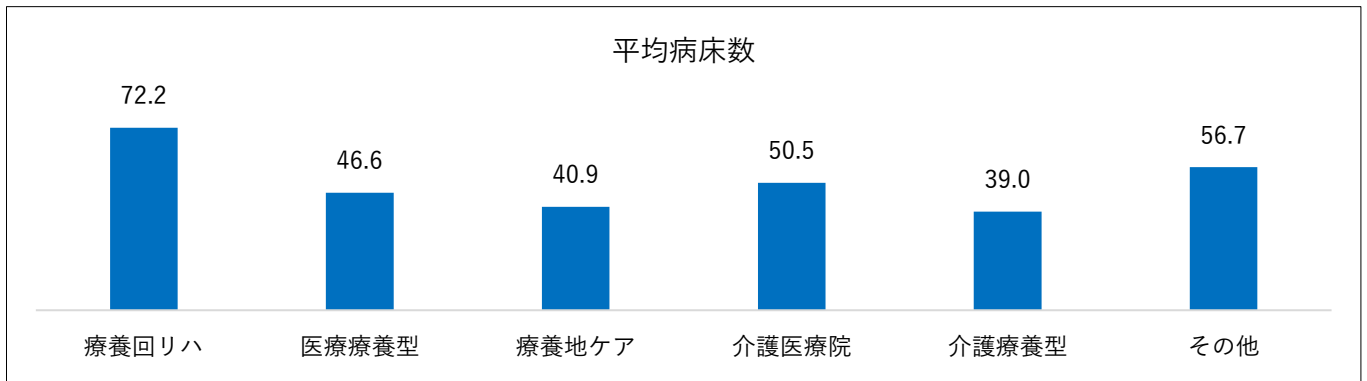
② 療養病床

回答施設のうち、療養病床を有する 223 施設の病床の種類（内訳）を下記グラフに示す。（複数回答可）



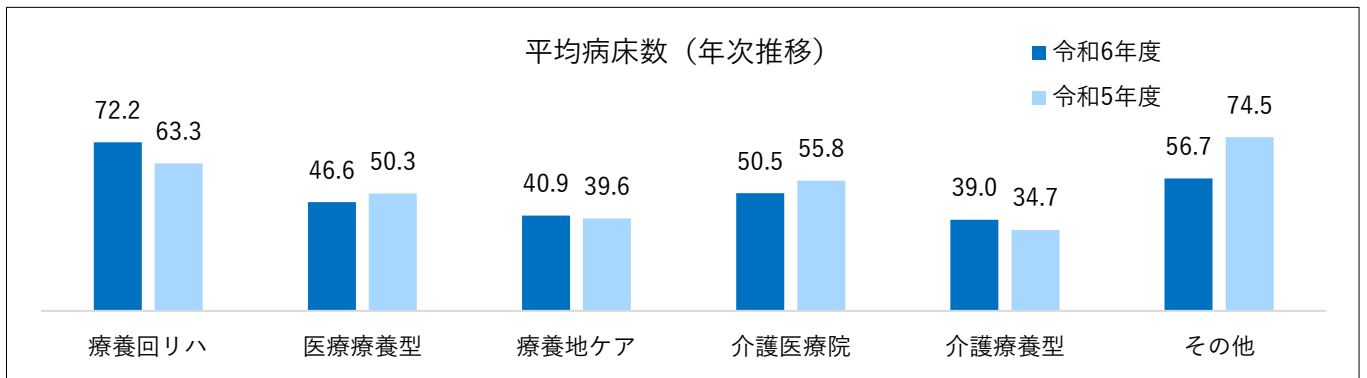
療養病床の種類は、療養回りハが 172 施設（48.7%）と最も多く、次いで医療療養型が 129 施設（36.5%）であった。

各病床の平均病床数を下記グラフに示す。



平均病床数は、療養回りハが 72.2 床と最も多く、次いで介護医療院が 50.5 床であった。（その他を除く）

平均病床数について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ、医療療養型、介護医療院に平均病床数の減少がみられた。

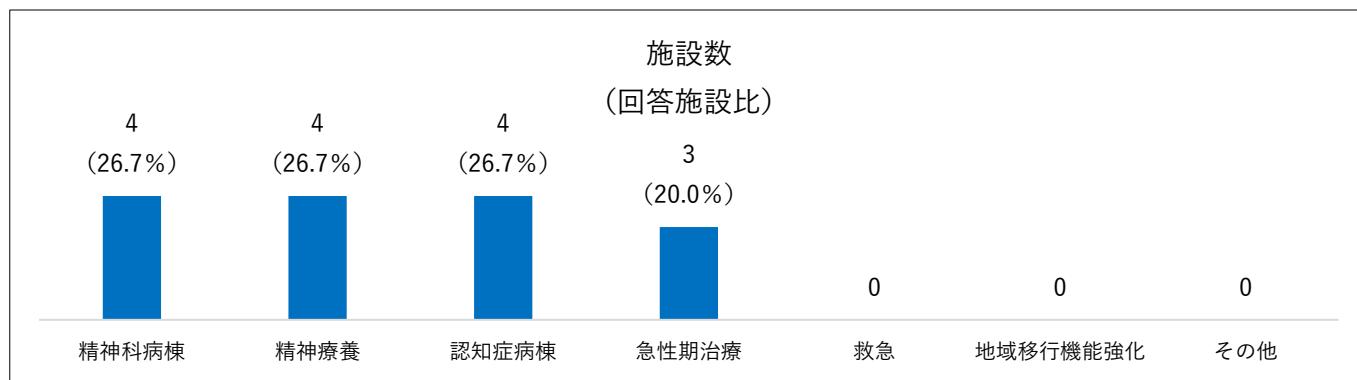
・療養病床詳細

療養病床を有する 223 施設の病床の種類、平均病棟・病床数をまとめた表を以下に示す。

	医療療養型 入院料 1	医療療養型 入院料 2	医療療養型 入院料 25：1	医療療養型 入院料 30：1	介護療養型 入院料 1	介護医療院 入院料 1	介護医療院 入院料 2
施設数	108	20	0	1	1	13	1
平均病棟数	1.4	2	0	1	1	1.6	1
平均病床数	65.7	89.5	0	31	39	72	29
	地域包括ケア 入院料 1	地域包括ケア 入院料 2	地域包括ケア 入院料 3	地域包括ケア 入院料 4			
施設数	21	13	0	0			
平均病棟数	1	1	0	0			
平均病床数	37.4	44.4	0	0			
	回復期リハ 入院料 1	回復期リハ 入院料 2	回復期リハ 入院料 3	回復期リハ 入院料 4	回復期リハ 入院料 5	回復期リハ 入院医療管理料	療養病棟 その他
施設数	124	16	26	4	1	1	3
平均病棟数	1.8	4.3	1.4	1	1	3	1
平均病床数	89.3	68.6	54.2	45.3	37	139	56.7

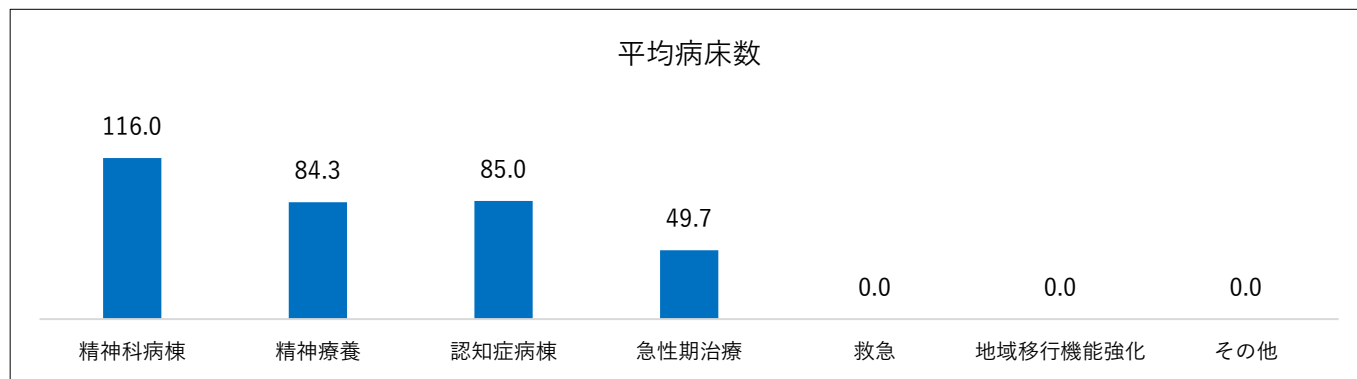
③ 精神病床

回答施設のうち、精神病床を有する 20 施設の病床の種類（内訳）を下記グラフに示す。（複数回答可）



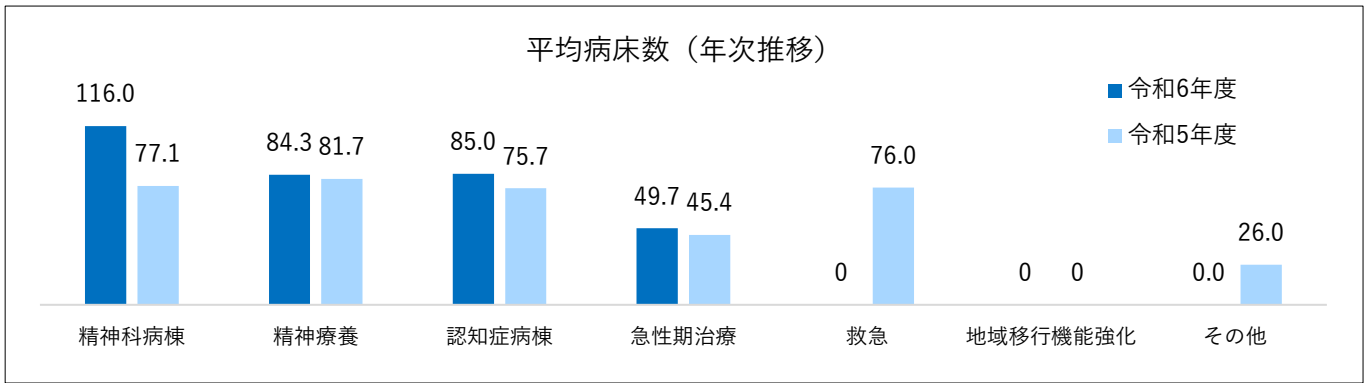
精神病床の種類は、精神科病棟、精神療養、認知症病棟が 4 施設（26.7%）と最も多かった。

各病棟の平均病床数を下記グラフに示す。



平均病床数は、精神療養が 116.0 床と最も多く、次いで認知症病棟が 85.0 床であった。

平均病床数について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度に比べ、救急以外で平均病床数の増加がみられた。

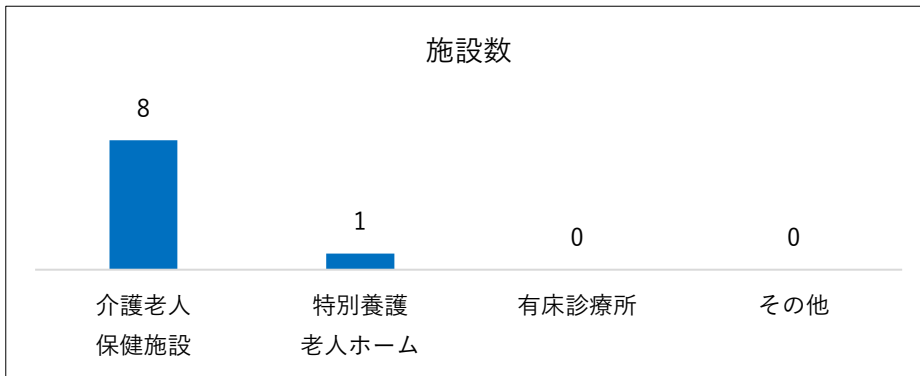
・精神病床詳細

精神病棟を有する 20 施設の病床の種類、平均病棟・病床数をまとめた表を以下に示す。

	精神科病棟 入院料 10：1	精神科病棟 入院料 13：1	精神科病棟 入院料 15：1	精神科病棟 入院料 18：1	精神科病棟 入院料 20：1	精神科 救急	精神科 急性期治療 1
施設数	0	0	4	0	0	0	3
平均病棟数	0	0	2.3	0	0	0	1
平均病床数	0	0	116	0	0	0	49.7
	精神科救急・ 合併症	児童・思春期 精神科	認知症病棟 1	認知症病棟 2	精神療養	地域移行 機能強化	精神科病棟 その他
施設数	0	0	4	0	4	0	0
平均病棟数	0	0	1.5	0	1.5	0	0
平均病床数	0	0	85	0	84.3	0	0

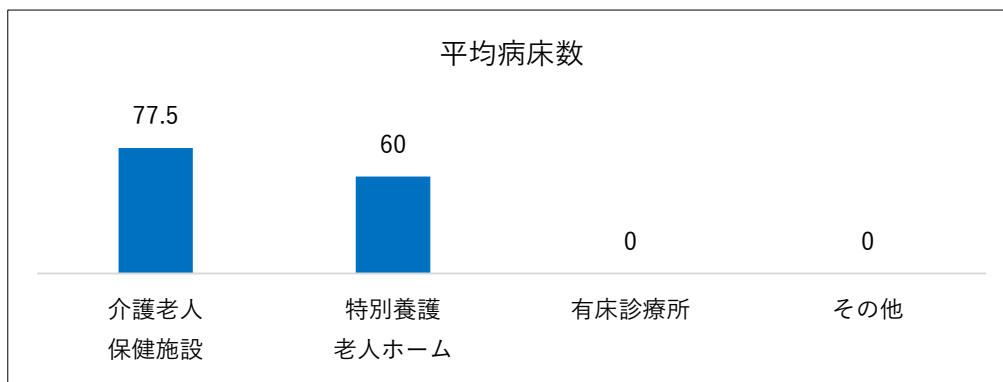
④ 有床診療所・介護老人保健施設等

回答施設のうち、有床診療所・介護老人保健施設等を有する 95 施設の種類（内訳）を下記グラフに示す。（複数回答可）



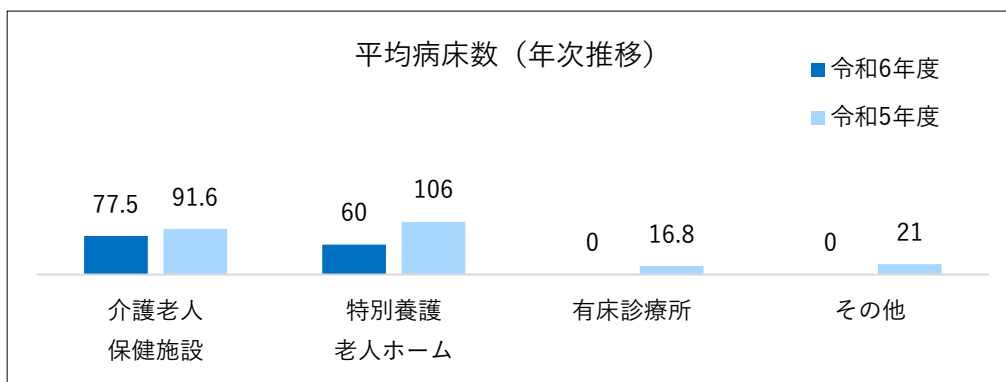
「種類」の回答数が大変少ないが、有床診療所・介護老人保健施設等の種類は、介護老人保健施設が 8 件と最も多く、次いで特別養護老人ホームが 1 件であった。

各施設の平均病床数を下記グラフに示す。



平均病床（定員）数は、介護老人保健施設が 77.5 床と最も多く、次いで特別養護老人ホームが 60 床であった。

平均病床数について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度に比べ、全体で平均病床（定員）数の低下がみられた。

・介護老人保健施設詳細

介護老人保健施設の詳細を以下の表に示す。

	介護老人保健施設		在宅強化型有
施設数	8	のうち	8
平均病床数	77.5		

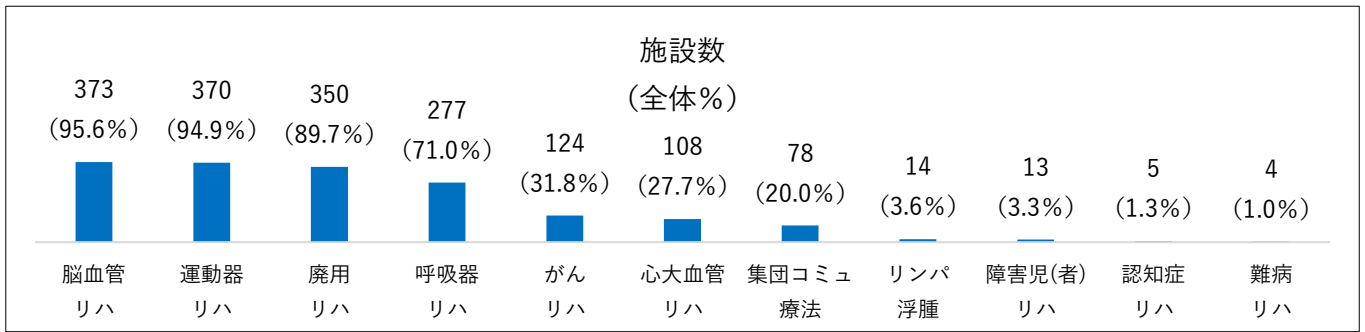
・特別養護老人ホーム、その他の施設詳細

特別養護老人ホーム、その他の施設の詳細を以下の表に示す。

	特別養護老人ホーム	その他
施設数	1	0
平均病床数	60	0

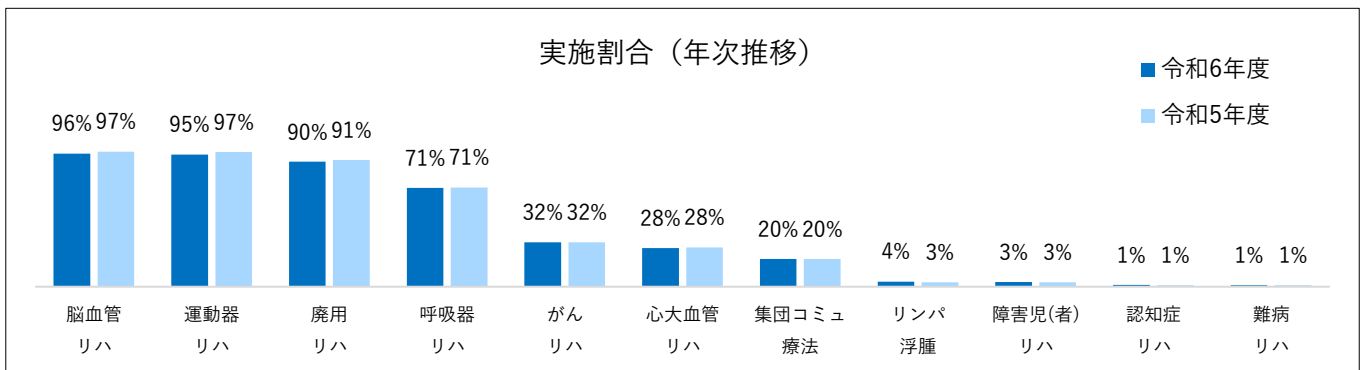
3. 実施しているリハ種別

回答施設で、実施しているリハ種別の内訳を下記グラフに示す。(複数回答可)



実施しているリハ種別は、脳血管リハが373施設と最も多く、次いで運動器リハが370施設であった。

実施しているリハ種別（実施割合）について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ特に大きな変化はみられないが、リンパ浮腫の実施割合のみわずかに上昇みられる。

・リハ種別詳細

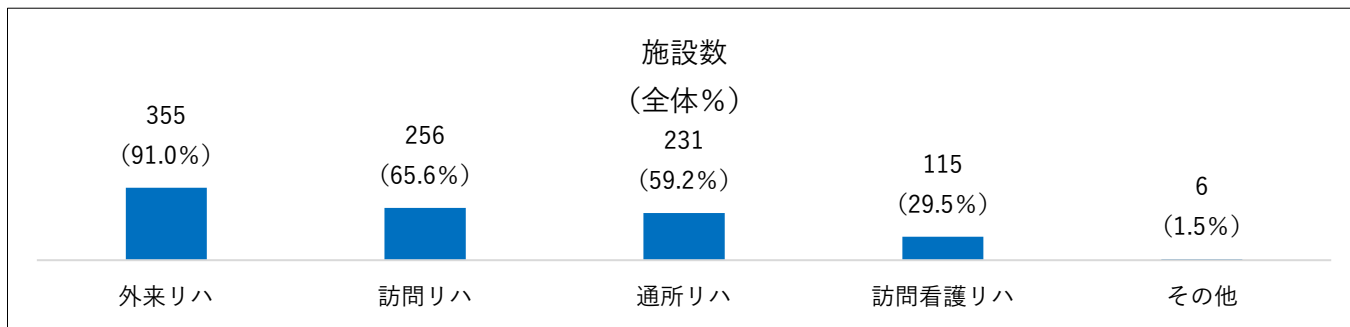
上記リハ種別で何を算定しているか、各リハ種別での内訳についてまとめた表を以下に示す。

	脳血管リハⅠ	脳血管リハⅡ	脳血管リハⅢ	廃用リハⅠ	廃用リハⅡ	廃用リハⅢ	
施設数	353	16	4	338	10	2	
全体%	90.5%	4.1%	1.0%	86.7%	2.6%	0.5%	
	運動器リハⅠ	運動器リハⅡ	運動器リハⅢ	呼吸器リハⅠ	呼吸器リハⅡ		
施設数	365	5	0	271	6		
全体%	93.6%	1.3%	0.0%	69.5%	1.5%		
	心大血管リハⅠ	心大血管リハⅡ	障害児(者)リハ	難病リハ	がんリハ	認知症リハ	集団コミュ療法
施設数	101	7	13	4	124	5	78
全体%	25.9%	1.8%	3.3%	1.0%	31.8%	1.3%	20.0%

	リンパ重症	リンパ重症以外	リンパ浮腫 複合的治療料 の実施職種	医師	看護師	理学療法士	作業療法士
施設数	8	6		3	6	3	3
全体%	2.1%	1.5%					

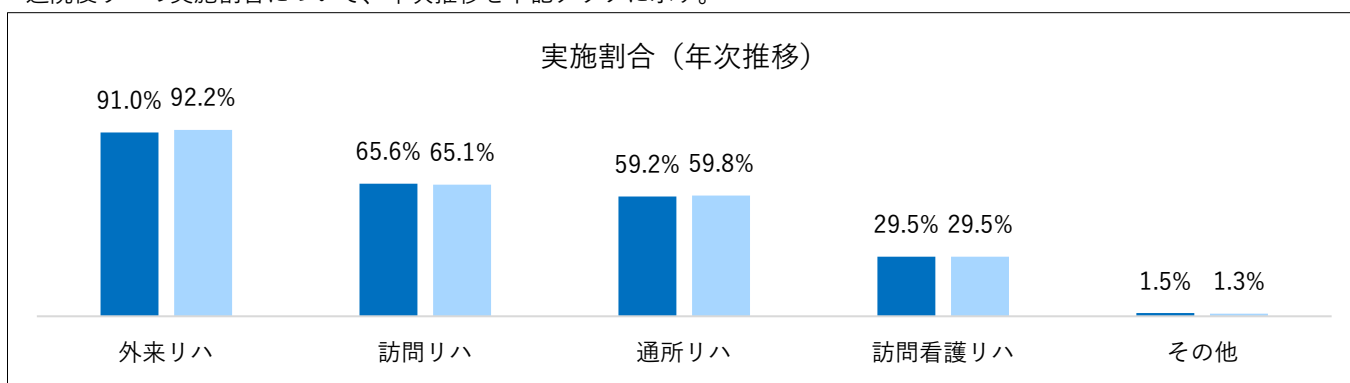
・退院後リハ

回答施設での退院後リハの有無について、下記グラフに示す。(複数回答可)



退院後リハは、外来リハが 355 施設 (91.0%) と最も多く、次いで訪問リハが 256 施設 (65.6%) であった。

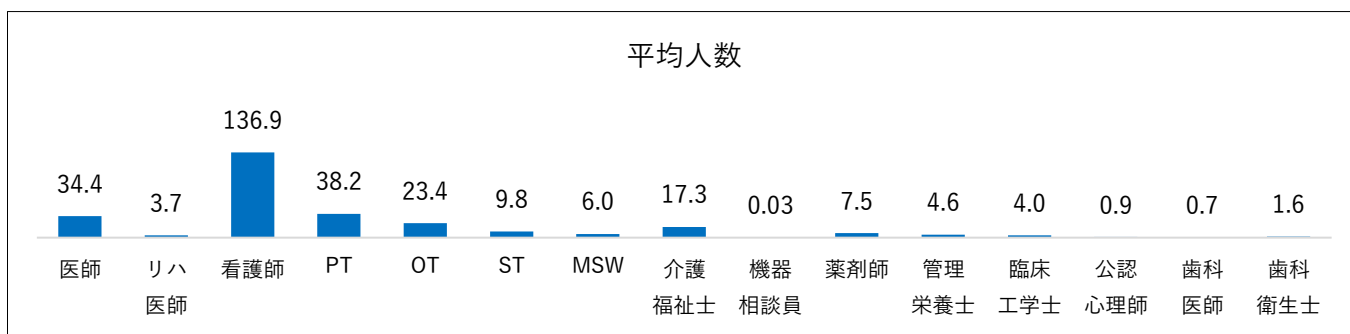
退院後リハの実施割合について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ特に大きな変化がみられないが、訪問看護リハ以外は実施割合がわずかに低下している。

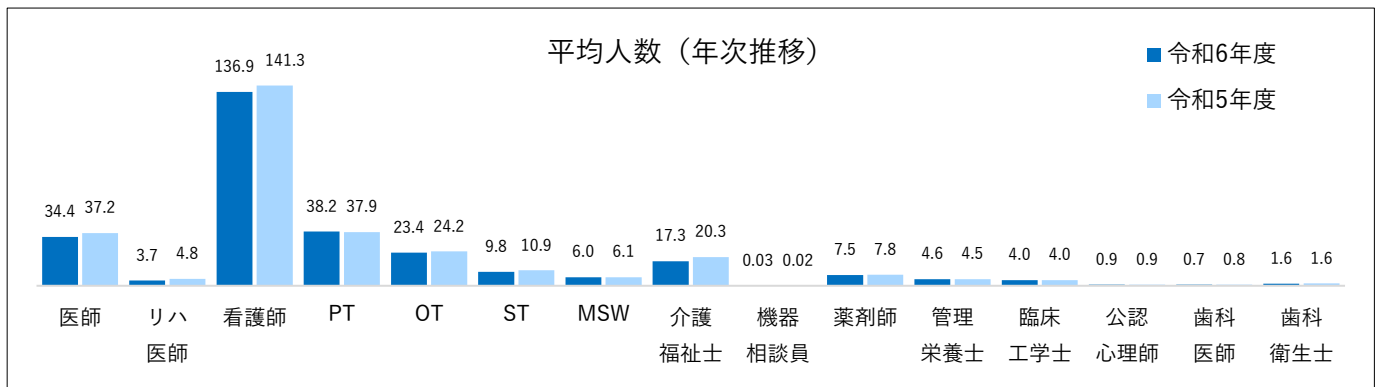
4. スタッフ数

回答施設のスタッフ数(職種別)についての平均人数を、下記グラフに示す。



職種別スタッフ数の平均人数は、看護師が 136.9 名と最も多く、次いで理学療法士が 38.2 名であった。

職種別スタッフ数の平均人数について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ、平均人数が減少、または大きな変化はない、のどちらかに分かれる結果となった。

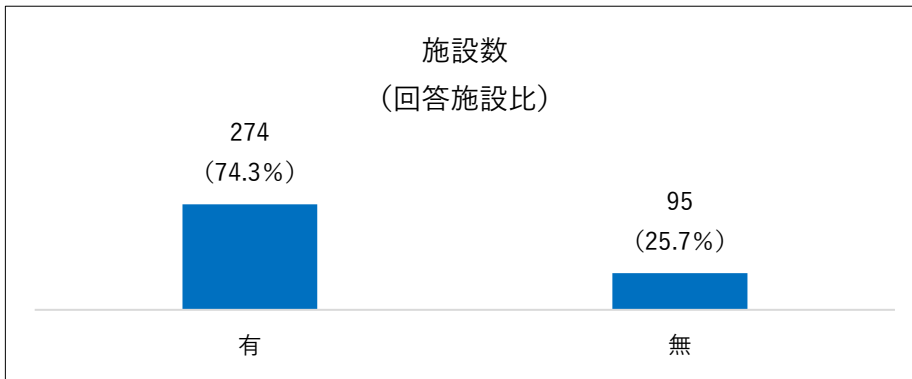
・スタッフ数詳細

各職種別の詳細についてまとめたものを、以下の表に示す。

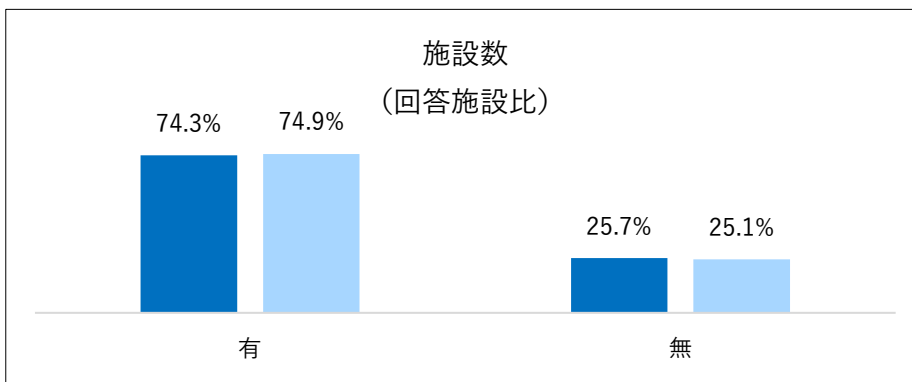
	医師 常勤	医師 非常勤	リハ医師 常勤	うち リハ専門医 常勤	リハ医師 非常勤	うち リハ専門医 非常勤	看護師 常勤	看護師 非常勤
平均人数	23.6	10.8	3.1	1.4	0.6	0.3	124.4	12.6
	PT 常勤	PT 非常勤	OT 常勤	OT 非常勤	ST 常勤	ST 非常勤		
平均人数	37.6	0.6	22.8	0.7	9.4	0.4		
	MSW	うち 社会福祉士	うち 精神保健福祉 士	介護福祉士	リハ機器・福 祉機器相談員	薬剤師	管理栄養士	臨床工学士
平均人数	6.0	5.2	0.7	17.3	0.03	7.5	4.6	4.0
	公認心理師	歯科医師	歯科衛生士					
平均人数	0.9	0.7	1.6					

5. 地域連携パス

各施設での地域連携パスの有無について、下記グラフに示す。



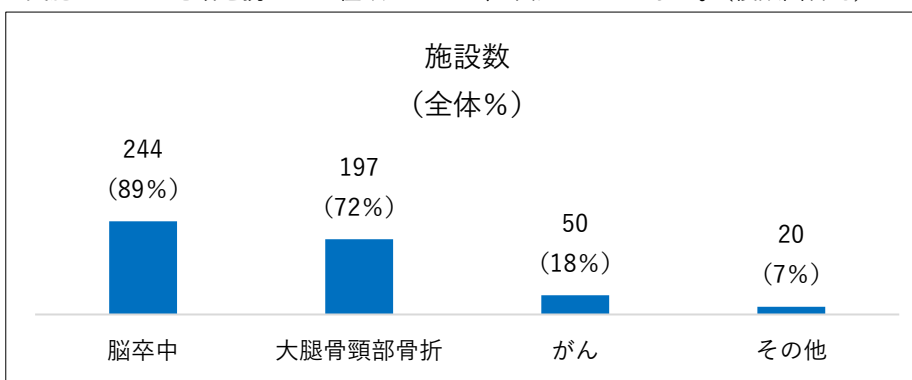
地域連携パスの実施割合について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ、地域連携パスの実施割合は若干減少している。

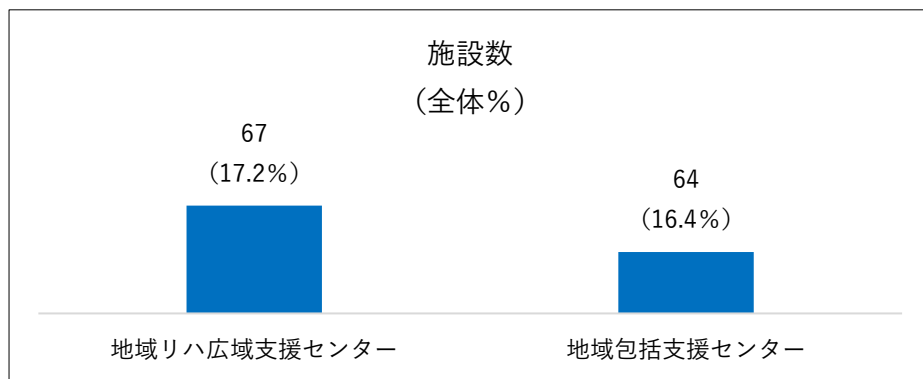
・地域連携パスの種類

実施している地域連携パスの種類について、下記グラフに示す。(複数回答可)

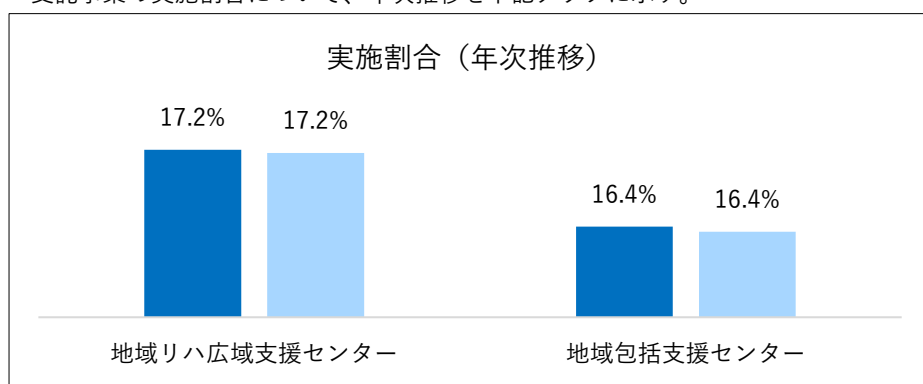


6. 受託事業

受託事業を実施している施設とその内容について、下記グラフに示す。(複数回答可)



受託事業の実施割合について、年次推移を下記グラフに示す。

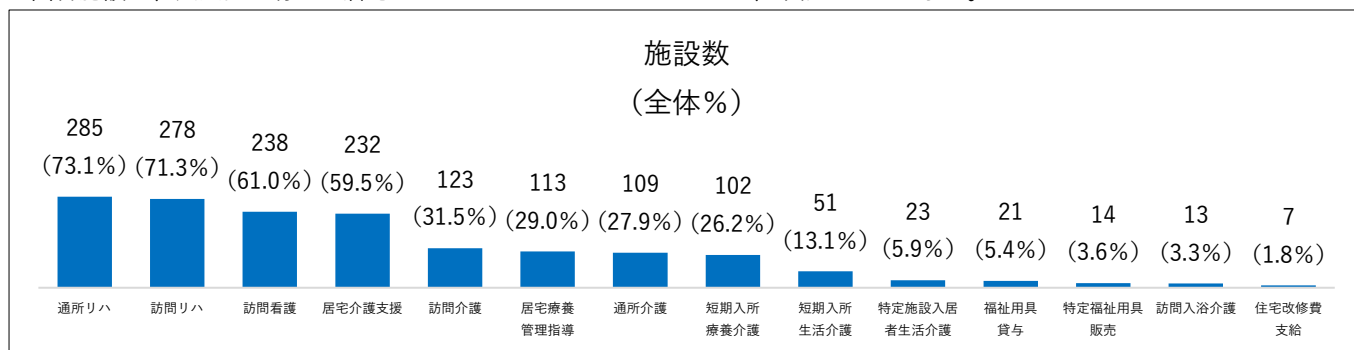


前年度と実施割合に変化がなかった。

7. 法人内事業所・施設

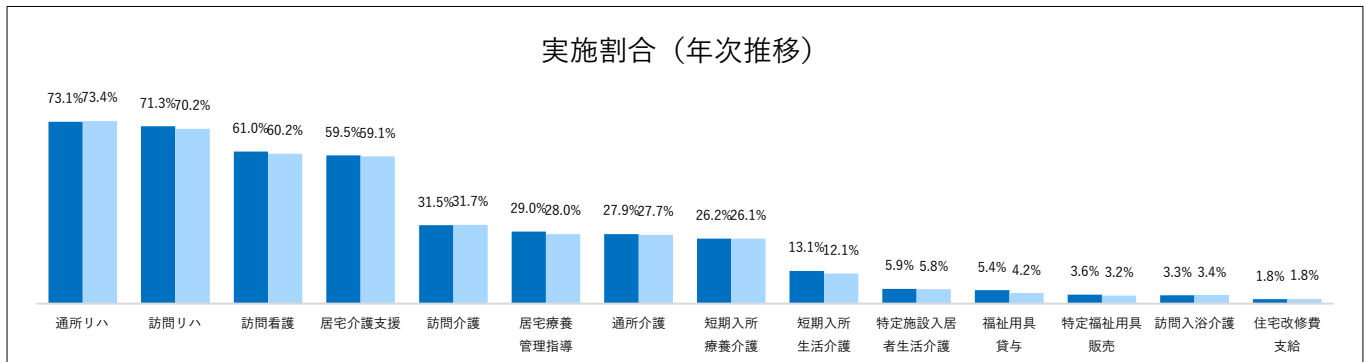
① 法人内居宅サービス

回答施設で、法人内に有する居宅サービスについてまとめたものを、下記グラフで示す。



居宅サービスの実施は、通所リハが285施設(73.1%)と最も多く、次いで訪問リハが278施設(71.3%)であった。

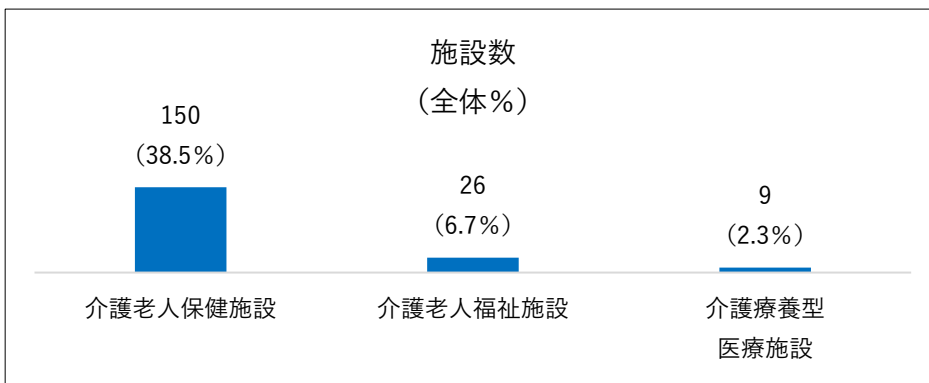
法人内居宅サービスの実施割合について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ、実施率の高い通所リハは若干の低下、訪問リハ・訪問看護は増加がみられた。

② 法人内施設サービス

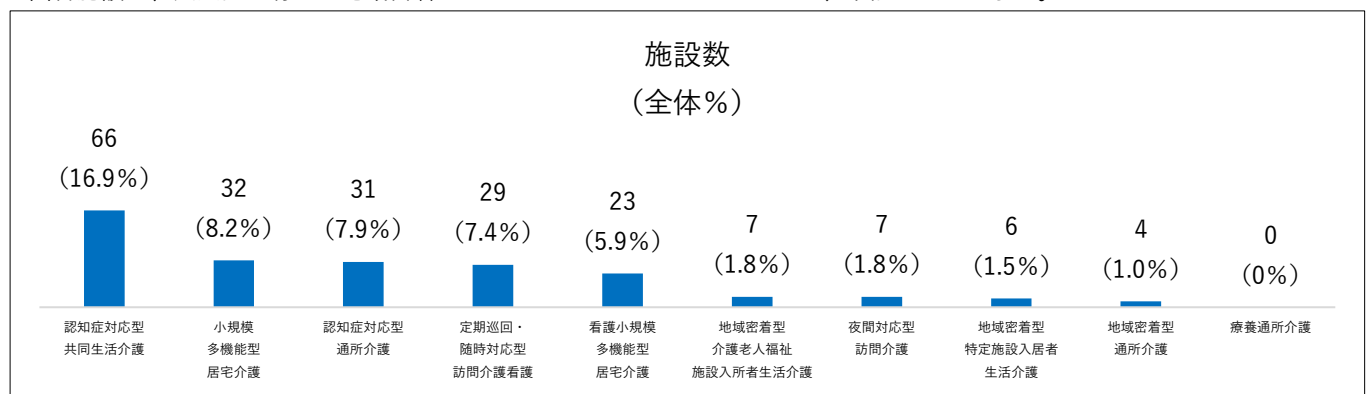
回答施設の、法人内に有する施設・サービスについてまとめたものを、下記グラフで示す。



介護老人保健施設が 150 施設（38.5%）と最も多く、次いで介護老人福祉施設が 26 施設（6.7%）であった。

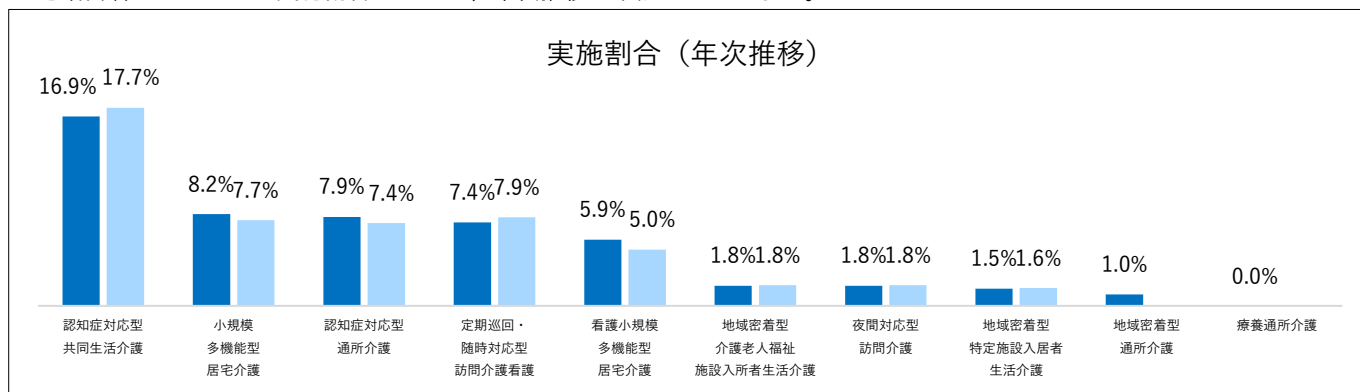
③ 地域密着型サービス

回答施設の、法人内に有する地域密着型サービスについてまとめたものを、下記グラフで示す。



地域密着型サービスの実施は、認知症対応型共同生活介護が 66 施設（16.9%）と最も多い。

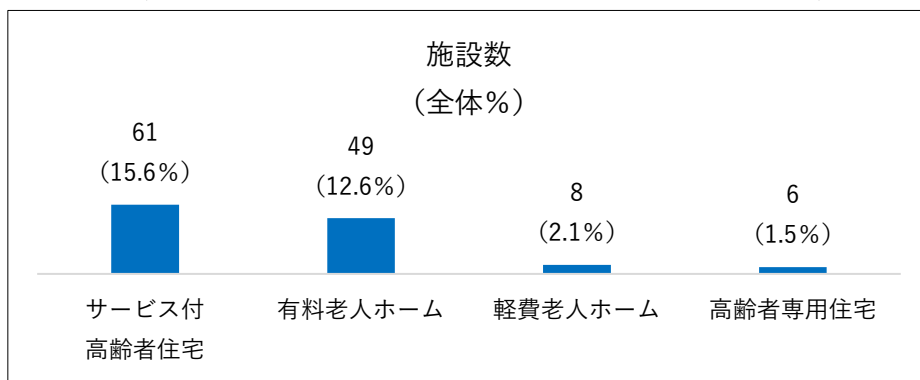
地域密着型サービスの実施割合について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、看護小規模多機能型居宅介護に上昇がみられた。

④ その他法人内事業所・施設

回答施設の、法人内に有する其他事業所・施設についてまとめたものを、下記グラフで示す。



8. 追加設問

① 許可病床数

回答施設の、許可病床数の平均値

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
平均	138.4	227.7	224.8

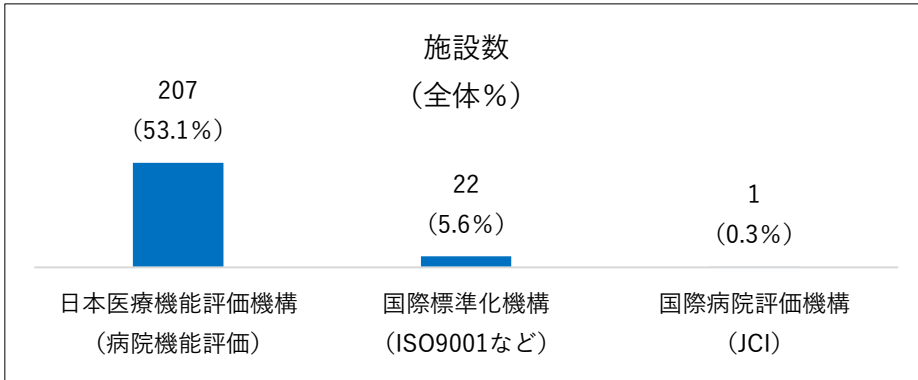
② DPC 病床の有無

回答施設で、DPC 病床のある施設数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
施設数	106	102	85

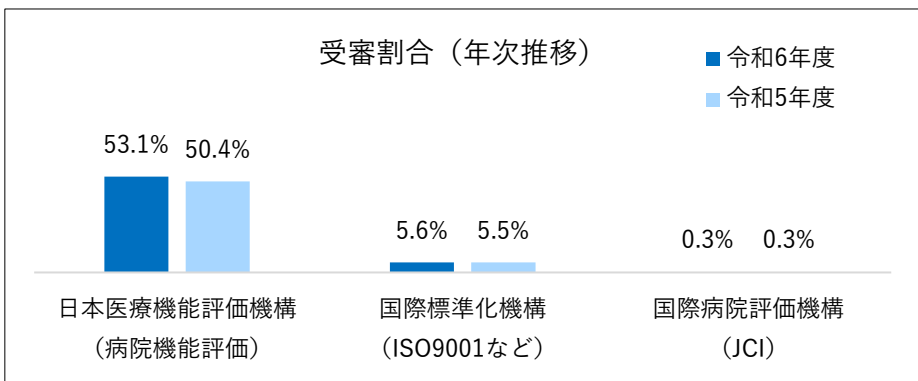
③ 受けている第3者評価認定の種類

回答施設で、受けている第3者評価認定とその種類について、下記グラフに示す。



受けている第3者評価認定は、病院機能評価が207施設(53.1%)と最も多い。

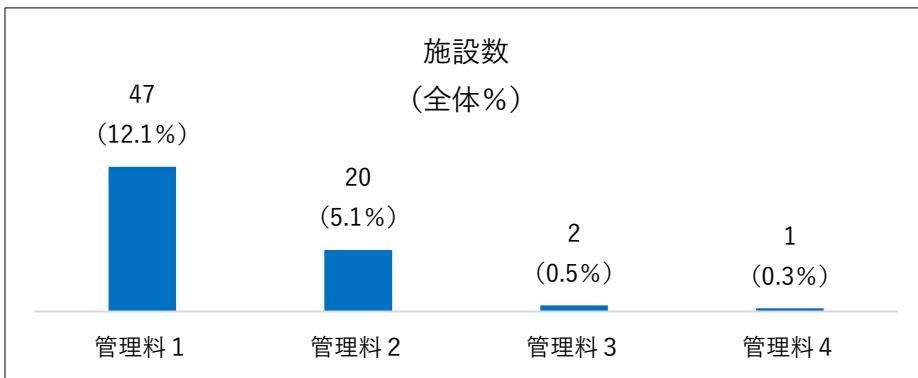
受けている第3者評価認定の割合について、年次推移を下記グラフに示す。



前年度と比べ、病院機能評価の受審割合に上昇がみられた。

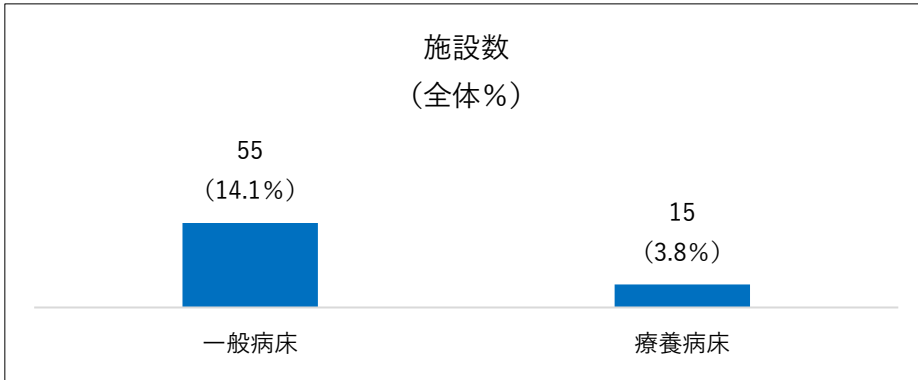
④ 地域包括ケア入院医療管理料種別

地域包括ケア入院医療管理料を算定している施設数と、どれを算定しているかまとめたものを、以下グラフに示す。



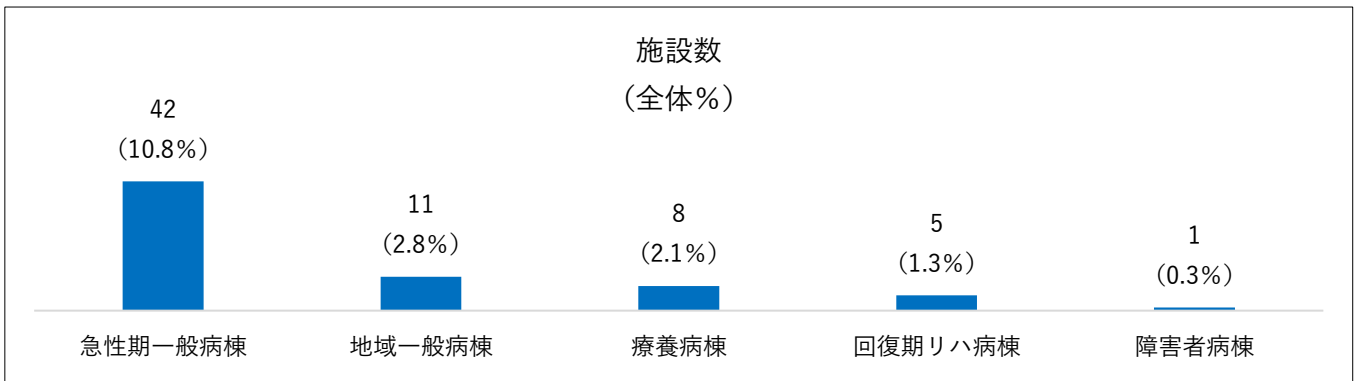
⑤地域包括ケア入院医療管理料病床数

地域包括ケア入院医療管理料を算定している施設の病床数と、その内訳について、下記グラフに示す。



⑥ 地域包括ケア入院医療管理料病床類型

地域包括ケア入院医療管理料を算定している施設の元病床の種別について、下記グラフに示す。



会員施設調査へのご協力誠にありがとうございました。
今後とも何卒よろしくお願いいたします。

日本リハビリテーション病院・施設協会
調査・検証委員会

